

屋内排水用伸縮継手施工要領書



下記事項は必ず確認し、実行していただく内容です。

- 圧力配管には、絶対に使用しないで下さい。
注)本製品は、自然排水方式の管路に適合します。
- 屋外に使用する場合は、露出配管はしないで下さい。
注)屋外露出配管を行った場合、製品劣化の原因になります。

手順

- 1 施工を行う場合、本製品が取り付け可能なパイプ切断寸法を確認します。
取り付け可能なパイプ切断寸法とは、製品を最も縮めた状態の寸法です。



■参考寸法

サイズ	パイプ切断寸法 (mm)	
	VU用	VP用
50	170	175
75	225	235
100	270	285

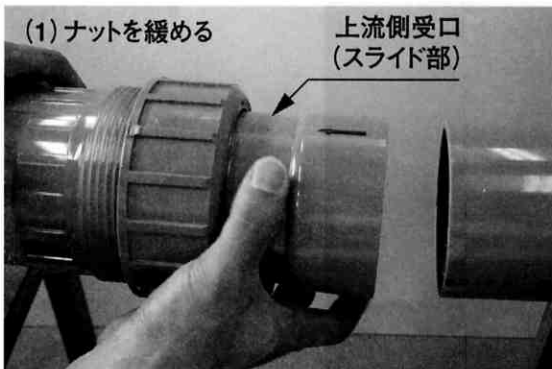
※あくまで、現物測定し対応して下さい。

- 2 下流側受口(本体)を先に接着します。



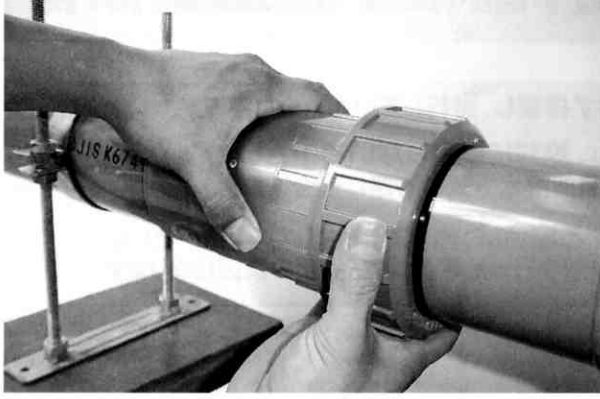
注. 切断面に生じたバリなどをヤスリ等の工具類できれいに仕上げ、排水管及び本体に付着している汚れをウエスできれいに拭き取ります。

- 3 ナットを緩めて、上流側受口(スライド部)が可動できる状態にします。
その後、上流側受口(スライド部)を接着します。

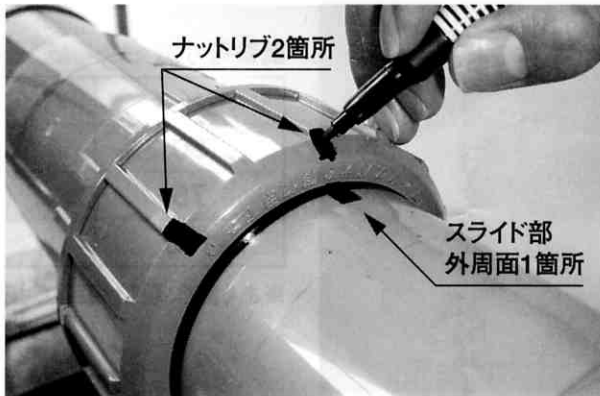


裏面へ

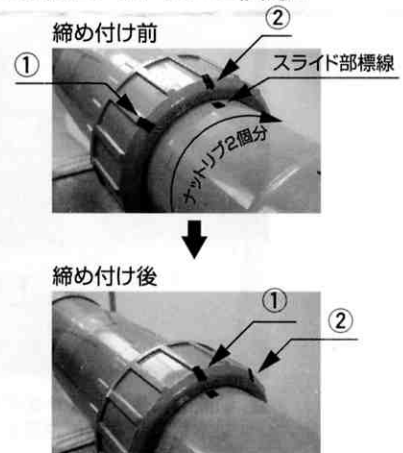
4 ナットを手で締め込みます。



5 ナットのリップ2箇所及びスライド部外周面1箇所にマジックインキにて標線を記入します。



6 フックスパナ等の工具を使用し、スライド部の標線を基準にナットリップ2個分、増し締めを行います。



注. 増し締めを行わなかった場合、漏水の原因になります。
又、過度の締め付けは製品破損の原因になります。

7 施工完了

